



ほけんだより

季節の変わり目で朝夕冷え込む日もあると思います。
これからの季節は、空気が乾燥し、ウイルスに感染しやすくなります。
手洗いうがいを励行し、体調を崩さないように衣服の調整や、旬の栄養
豊富な食べ物を食べて免疫力を高め、病気に負けない身体を作って行
きましょう。



令和3年10月6日
第二王子町保育園
後藤 宮子

季節はずれと
感じますが

手足口病の定点当たり患者報告数は12.55
(警報レベル5.0)と流行しています。
※大分市ホームページ

☆口の中や手足などに水疱性の発疹がでる、ウイルスの感染によって
起こる感染症です。子どもを中心に、主に夏に流行します。原因ウイル
スは複数種類があるため、何度も感染する可能性があります。

〈症状〉 口の中、手のひら、足底や足背などに2~3ミリの水疱性発
疹があらわれます。口の中の水疱が破れると痛みを伴うため、
食欲が落ち、水分が十分にとれなくなることがあります。
脱水症状(おしっこ量が少ない、不機嫌等)に注意してくだ
さい。

上記のような症状があった場合は、
早めの受診をお願いします。



10月10日は、 目の愛護デー

2つの10を横に倒すと、まゆと目の
間に見えることから10月10日は目の
愛護デーとされています。
乳幼児期は、視力の発達に最も重要な
時期です。
この機会にお子様の
「目」の健康を改めて
見直してみましょう。

10月10日



子どもの目の発達



生まれたての赤ちゃんは明るい暗いかわかる程度ですが、2歳で視力0.5前後に発達し5歳で
8割の子どもが視力1.0に達していきます。乳幼児期は、子どもの目の発達にとって、とても大事
な時期なのです。強い遠視や乱視、近視があったり、目の位置がずれている(斜視)、さらには目の
機能が発達しない弱視になってしまうことも。片目の視力が良い時や、3歳で視力0.2くらい
の視力があると、周囲の大人は子どもの視力が悪いことには気づきません。このため3歳児眼
科健診で片目ずつ視力を測定し、両眼ともに視力が順調に育っているかを確かめてください。
たとえ弱視が見つかったら、3歳ならばほとんどの場合、治療することが可能です。
また、最近では子どもの遠視、近視、乱視を測定し、眼の位置も同時に確かめることができる機
器も出てきました。小児科の先生によっては、乳幼児健診の際に測定してくれることもあります
が、精密検査を勧められたらぜひ眼科を受診してください。目を細めて見る、極端に色々なも
のに近づいて見る、目の位置が気になる、など気になることがあったら、健診で眼科受診を勧
められたら放っておかず、できるだけ早く眼科を受診しましょう。

【眼科専門医 富田 香】参照

こんな様子があったら……

- ・目を細めて見る。
- ・片目で見える。
- ・顔を傾けて見る。
- ・まぶしがる。
- ・いつも涙ぐんでいる。
- ・まぶたが下がっている。

早めの受診を!!



西の台保育室(西の台病院内) からのお知らせです!

10月1日から病児保育室のWEB予約サービス
『あずかるこちゃん』が始まりました。
スマホからいつでも簡単に、病児保育室の予約や
キャンセルできるようになります。

一度「あずかるこちゃん」で検索してみてください。